

原子力技術応用工学科 6年連続就職率100%!

本年度も就職 絶好調!!

平成二十五年度本学科卒業生(十九名)に対して、平成二十四年度と同様五社以上から求人があり、就職希望者全員が原子力関連企業に就職しました。現在、平成二十六年卒業生予定者(現四年生三十五名)に対しても、五十社以上の大手原子力企業から求人があり、多くの学生が大手企業より内々定を受けています。本学科は平成二十六年

就職実績(内々定含む)◎: 複数実績			
実績	企業名他	業種	従業員
◎	日本原子力研究開発機構	研究	4200
◎	原子力安全基盤機構	研究	500
◎	関電プラント	プラント	1144
◎	グリハプラント	プラント	601
◎	非破壊検査株式会社	検査	520
◎	原電事業	プラント	501
◎	木内計測	プラント	380
○	日本原電	電力	1400
○	三菱エンジニアリング(三菱系)	設計	527
○	原子力サービスエンジニアリング	保守	478
○	原燃輸送	輸送	116

放射線取扱主任者 十三名合格!

平成二十五年度難易度の高い国家資格である「放射線取扱主任者」試験に、十三名が合格いたしました。合格者十三名の中で一名の学生が第一種に十二名の学

四月で十年目を迎えました。その間、本学科の卒業生全員が就職しており、原子力は、地球温暖化防止、エネルギー国産化の二つの面から、産官学一体となつて頑張っています。

21名が本学科の 仲間になりました

平成二十六年度原子力技術応用工学科は二十一名の新入生を迎えることができました。学生は、地元福井県をはじめ、若手県、茨城県、富山県、石川県、大阪府、奈良県、兵庫県、愛媛県、広島県から来ています。

四月二十五日(金)にフリーターキングアワーズ(FTH)の講義時間を利用して、新入生全員が協議、協力してカレー作りを行い、昼食は本学科教員と共に

にカレーパーティーを行いました。カレーの作製は本年度で十年目を迎えました。本学科は少人数クラスであることの有効性を最大限に利用し、課題解決型学習(PBL)を積極的に実施しています。

文部科学省 「国際原子力人材育成 イニシアティブ事業」 フランス報告!

文部科学省が公募する平成二十四年度国際原子力人材育成イニシアティブ事業(原子力人材育成等推進事業費補助金)に私学として唯一、本学が採択されました。本事業の中のグローバル人材育成として、平成二十六年三月二日(日)〜三月八日(土)の期間、本学で選抜した学生五名(三年生二名、二年生二名、一年生一名)がフランスの原子力関連施設を訪問し、短期の留学を体験しました。三月二日(日)関西国際空港を出発し、パリからTGVに乗って南フランスのアヴィニオンへ向かいました。三日(月)は、アヴィニヨンの北30kmにあるマルクル(CEA)の原子力施設を見学しました。高レベル廃

棄物処理研究センター(アタラント)等の研究施設では、様々な機器、設備を見学することができました。四日(火)エクサンプロバンスへ行き、カダラツシュにある原子力科学技術大学院(INSTN)カダラツシュ校を訪れ、学生交流をしました。カダラツシュ校は原子力の専門技術者を育成する学校です。その後、実験用原子炉や新型原子炉の建設現場等を見学しました。日本では、見ることが出来ない施設ばかりでとても貴重な経験でした。五日(水)、六日(木)は日本原子力研究開発機構(JAEA)パリ事務所、関西電力パリ事務所、国産の電力会社であるフランス電力会社(EDF)を訪問し、フランス及びヨーロッパの原子力及びエネルギー事情について詳しく学ぶことができました。七日(金)にフランスを出発し、八日(土)に無事帰国しました。平成二十六年度は、フィランドへの短期留学を計画しております。

